

講義名	ビジネス日本語 B / ビジネス日本語			授業形態	
担当教員	辻 周吾	開講期・曜日・時間	後期 月曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

**主題と概要**

毎回の授業で、まず、日常生活やビジネスの場で欠かせない敬語について指導します。その後、ビジネスコミュニケーションのためのケース学習を行います。授業の後半は、BJTビジネス日本語能力テストの「読解」、「聴解・聴読解」を中心に練習を行います。

**到達目標**

敬語や適切な敬意を表す表現を使うことができるようになる。  
 日常のビジネス会話がおおむね理解できるようになる。  
 日英対訳の社内文書やビジネス文書がおおむね理解できるようになる。  
 協調力・問題解決力・異文化理解力などを身につけられるようになる。

**提出課題**

ビジネス日本語、ビジネスコミュニケーションに関するテーマのレポートを課します。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

レポートについて、授業中にフィードバックします。

**評価の基準**

授業への参加度（75%）、中間レポート（10%）、期末レポート（15%）

**履修にあたっての注意・助言他**

- ・毎回、出欠をとります。
- ・1 回以上の遅刻は、欠席とみなします。
- ・授業には、辞書を持って来てください。

**教科書**

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

**参考図書**

.BJTビジネス日本語能力テスト 読解 実力養成問題集 第2版.	宮崎道子（監修）	スリーエーネットワーク	1320	978488319769
.BJTビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解 実力養成問題集 第2版.	宮崎道子（監修）	スリーエーネットワーク	2750	978488319768
.ビジネスコミュニケーションのためのケース学習:職場のダイバーシティで学び合う.	近藤彰	ココ出版	1760	4904595378

**その他**

授業中にプリントや資料を配布します。

**授業計画**

1. 聴取表現(スタートアップ・ドリル) / BJT模擬 (場面把握問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
2. 聴取表現を使うときのポイント / BJT模擬 (発音聴解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
3. どんなときに聴取表現を使うか / BJT模擬 (発音聴解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
4. 聴取表現の練習問題 / BJT模擬 (総合聴解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
5. 聴取表現(スタートアップ・ドリル) / BJT模擬 (総合聴解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
6. 聴取表現を使うときのポイント / BJT模擬 (状況把握問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
7. どんなときに聴取表現を使うか / BJT模擬 (資料聴読解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
8. 聴取表現の練習問題 / BJT模擬 (総合聴読解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
9. いろいろな敬語(スタートアップ・ドリル) / BJT模擬 (総合聴読解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
10. その他に用いられる敬語について話すときに使う敬語 / BJT模擬 (総合聴読解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
11. 敬語のレベルの表し方 / BJT模擬 (書翰・文法問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
12. いろいろな敬語の練習問題 / BJT模擬 (表現読解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
13. ケース学習 (1 回目) / BJT模擬 (総合読解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
14. ケース学習 (2 回目) / BJT模擬 (総合読解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)
15. ケース学習 (3 回目) / BJT模擬 (総合読解問題)  
 予習内容: 教材に目を通しておく (120分)  
 復習内容: 授業内容を復習する (120分)

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

<input type="radio"/> ア: PBL (課題解決型学習)	<input type="radio"/> イ: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ: グループワーク
<input type="radio"/> オ: プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ: その他 (A-L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

日本企業の職場のコミュニケーションをテーマとしたケーススタディを取り上げる。タスクを通して、その中から、コミュニケーション・ギャップの問題点や要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる。また、その問題点や要因に対し、解決策として、課題の解決への道筋や段取りを明らかにし具体化するといった、構想力を使うことができる。

留学生が、ビジネス日本語の習得に向けて、自ら進んで取り組むことができる。授業では、BJTビジネス日本語能力テストの「読解」、「聴解・聴読解」を中心に練習を行う。BJTビジネス日本語能力テストなど、自ら目標を設定し、それを成し遂げることができる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**

授業において、ビジネス日本語に関する講義として、外部講師をお呼びする場合があります。